

平成24年度

【上田市版市民参加・公開型行政評価】

「市民による事業評価」

テーマ別事業概要書

テーマ「地域リーダーの育成」



平成25年2月12日(火)

上 田 市

1 現状

(1) まちづくりの視点から

地方分権の進展に伴い、地方自治体には自己責任・自己決定による、地域の個性と特色を生かしたまちづくりや行政経営が求められています。

市では240の自治会がそれぞれ地域特性を生かしながら、地域の個性化や生活環境、福祉、防災、防犯、子育てなどにおいて地域の力を発揮しています。さらに、NPO法人や市民活動団体も地域づくり積極的に取り組んでいます。

こうした活動を支援するため、「わがまち魅力アップ応援事業」の補助制度を設け、市民との協働によるまちづくりに取り組んでいます。また、平成22年度からは、こうした地域づくり活動に対し、相談やアドバイスなど地域活動（地域や市民が自ら地域を元気にし、魅力あるまちや特色を生かした地域づくりを行っていく取組）をコーディネートする地域人材の育成を図っています。

平成23年には、市民が市政に参画するための基本的な考え方をはじめ、情報共有や協働などのルールを定めた「上田市自治基本条例」を制定しました。

平成24年度からは、地域内分権確立のための最終ステージ（地域内分権第4ステージ）として、新たな住民自治組織の設置など、市民の参加と協働によるまちづくりを進めています。

(2) 福祉の視点から

平成20年3月に第1次地域福祉計画を策定し、年齢や障害の有無に関係なく、一人ひとりが人としての尊厳を持って、地域や家庭の中でその人らしく安心した生活が送れるよう、地域住民や行政などが協力して自立支援をするための、地域福祉施策を進めています。

また、市の地域福祉計画と併せて、上田市社会福祉協議会では、地域福祉活動計画を策定し、地域福祉計画と連携・協働し、地域住民及び福祉・保健等の関係団体や事業者が、地域福祉推進に主体的に関わるための具体的な活動の計画を立て、地域福祉の推進に努めています。

(3) 公民館活動の視点から

上田市の公民館は9本館、2地区館、246分館から構成されており、地域住民の学習・文化・スポーツ活動の拠点として60有余年の歴史を刻み、地域住民に親しまれる存在として今日に至っています。公民館は、地域の課題解決を図る学習活動や文化、スポーツ等の活動拠点として、様々な分野の事業に取り組んでいます。

2 課題

(1) まちづくりの視点から

市民の参加と協働によるまちづくりや地域内分権を推進するためには、仕組みづくりやそれを進めるため、地域住民の権限と責任の下で使える予算の充実が必要です。

これを具体化していくためには、行政の押し付けではなく、何よりも住民の主体的な検討や取組が必要であり、今後は、まちづくりを進める核となる人材の確保・育成を図り、市民と市が一体となって、新たな住民自治の仕組みをつくり上げていくことが課題となっています。

(2) 福祉の視点から

核家族化や人口の流出入などにより、かつてのような伝統的な家庭や地域の相互扶助機能が失われ、地域住民相互の社会的なつながりが薄れてきていることは、高齢者や障害者など支援を必要とする人にとっても課題となっています。

地域福祉の担い手である民生児童委員・福祉推進委員には、それぞれの任期があることから、継続して活動することが難しい面があります。また、各地域で少子・高齢化が進み、役員自体のなり手が少なくなっている実情もあります。

各委員は、それぞれの立場で活動しているものの、連携協働する活動が少ないことも課題となっています。

(3) 公民館活動の視点から

生涯学習と人材開発を促進するためには、市民の学習ニーズに応えるだけでなく、市民が自発的に地域づくりの活動に取り組む素地となる社会教育の推進が必要です。また、高齢社会を迎えた今日では、知識や経験を持つ人材の発掘や活用を一層進めるほか、まちづくり活動を行なう団体の指導者の育成や、各種団体の交流と連携を進める必要があります。

3 取組状況

(1) まちづくりの視点から

市では、市民の参加と協働によるまちづくりや地域内分権の推進に向けて、地域における機運の醸成を図り、地域づくりに対する市民の皆様の関心を更に高めるため、平成 20 年度から「わがまち魅力アップ応援事業」を創設し、市民の皆様が地域の課題解決や地域の活性化のために主体的に取り組む活動を財政面で積極的に支援することにより、市民協働と地域における自立的な取組を促進してきました。更に地域協議会や自治会、市民団体からの要望を受け、平成 25 年度から制度を改正し、更なる充実を図ります。

また、平成 22 年度からは、「地域づくりコーディネーター養成講座」を開講し、住民の主体的な地域づくり活動に対し、相談やアドバイスなど、地域活動をサポート（コーディネート）できる人材の育成を長野大学と連携して取り組んでいます。これらの事業を通してまちづくりを牽引する地域リーダーが育成されることを期待しています。

(2) 福祉の視点から

地域福祉計画の策定に併せ、地域福祉を担うリーダーを育成する講座を、年 1 回テーマを決め開講しています。この講座は、地域福祉の担い手である民生児童委員、福祉推進委員、関係機関・関係団体を対象として実施しています。

○ 地域福祉推進リーダー養成事業

① 平成 19 年 10 月 20 日（長野大学）

- ・講演「地域福祉を考える」 講師 長野大学準教授
- ・グループディスカッション「地域の課題とその解決方法について」

② 平成 21 年 2 月 6 日（長野大学）

- ・講演「自助・共助・公助のまちづくり」 講師 長野大学準教授
- ・グループワーク

③ 平成 24 年 1 月 26 日（長野大学）

- ・自殺予防講演会 講師 長野大学非常勤講師・精神保健指定医
- ・ゲートキーパー養成研修会

(3) 公民館活動の視点から

公民館における学習活動は、住民の自主的で自由な活動と、公民館や分館が企画する、地域の良さを再認識するための歴史、文化、風土などを学ぶ学習などがあります。

これらの学習活動が、生活課題や地域課題の解決に結びつき、地域づくりや地域を担う人材育成につながることを目指し、地域の自主的な活動に対する補助や協働による事業を実施しています。

○ 農ある里山暮らしのすすめ講座【塩田公民館】

(目的) 山と里の地域振興を考える

(内容) 生活様式の多様化や住民の高齢化に伴い、里山や周辺の農地の荒廃が進んでいることから、里山を利活用した先人の智慧を学び、楽しく新しい信州の里山暮らしを目指しています。

○ 川西里山・水辺をつなぐ会【川西公民館】

(目的) 豊かな里山を次世代に継承する活動を通じて、交流と地域づくりを推進します。

(内容) 里山の自然を守る団体が、情報交換や交流をとおして連携を図ります。関係団体の連携による事業をとおして、誇りと希望の持てる地域づくりを行います。